

期待をはるかに超えた 舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』鑑賞会実施

2025年6月22日（日曜日）に、初夏の微風が緑を撫でるなか、日本中華總商会フェローシップグループ・会員交流委員会・レクリエーション文化部会吉野有美部会長を中心に企画した舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』の鑑賞会を実施しました。船津康次常務副会長、吉野有美部会長（執行理事）、中馬哲常務執行理事、張翠萍常務執行理事、レクリエーション文化部副会長黄鶯（執行理事）及び会員と会員のご家族様限定 30 名でイベントに参加しました。



舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』のホームページに掲載されたように、「世界中のファンを熱狂させ、世界中の演劇賞を受賞した舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』、2022年に開幕した東京公演は、ついに総観客数 100 万人を突破。」との超人気のエンターテインメントには、賛助会員でもある株式会社 TBS ホールディングス様（以下 TBS 様と表記）のご支援のもとで、魔法をかけたように、奇蹟的に日曜日の昼の Harry Potter Café の貸切ができました。参加者がこのカフェしか見ることができない魔法のような環境のなか、魔法城カフェの特製食事を堪能しながら、株式会社 TBS ホールディングス執行役員横井仁様より舞台の魔法見どころの説明を楽しんでいた。



『魔法がいま、現実になる。ハリー・ポッター、19年後のストーリー。』との予想がつかないほどの展開に、満員会場の観劇者と同じく、参加者は期待をはるかに超えたものであったとの声が多くありました、TBS様のご厚意に参加者全員に配布された公演パンフレット、オリジナルネックストラップも帰宅後に記憶を蘇る記念グッズになりました。

今後のイベントも会員サービスの一環として一層努力して企画したいと吉野部会長が語りました。



日本中華總商會 事務局
2025 年 6 月 22 日